



小雀公園 里山通信



Vol.22 秋の作業と秋の味覚



いつの間にか季節が移り替わっていることが多く、気が付くとあんなにつらかった酷暑が終わっていた、気が付くと木の葉が散り始めていた、気が付くと年末年始が…。一年の移り変わりはあっという間ですね！夏の間は草刈りに追われていた公園の作業も今はひと段落し、なかなか手が回せなかったそのほかの作業を行っていますので、ちょっとご紹介します。

小雀公園にはため池、ヨシ原、花の湿地園と水辺が多くあるのですが、ほっとくとすぐにヨシで覆いつくされてしまいます。特に花の湿地園では色々な水辺の花が楽しめる場所として維持したいので、少しでもヨシの繁茂を食い止めるため、抜き取り作業を行っています。抜いたところで地中深くまで根がはびこっているため絶やすことはできませんが、やらずにいればヨシ原になってしまいます。作業する職員は腰は痛いわ泥だらけになるわでつらい思いをしていますが、利用者さんからかけていただくねぎらいの言葉で、やる気を奮い立たせています。応援ありがとうございます！



初冬にかけては落ち葉かきも頻繁に行っています。ある程度の落ち葉は風情があって素敵ですが、厚く積もりすぎると歩きにくくなるので、やっぱり掃除が必要です。昔のように落ち葉焚きができればいいのですが、今はそういうわけにもいかないのが処分しなければなりません。それでも一部は公園内で腐葉土化させることで、山の木の栄養になったり、虫のすみかになったり、その虫を食べる鳥のエサ場になったりもします。できるだけ自然のものは自然に循環させたいものですね。

もうひとつ、変わったイベントを行ったのでそのご報告です。おとし花の湿地園沿いで萌芽更新を行った際に、手ごろな太さの枝にしいたけの菌を打ち込んでおいたのですが、今年の秋ついにしいたけが出てきました！しいたけは菌を打ち込んで夏を2回経過した秋に出始めるといいですが、まさにその通りとなりました。それを持ち運べるミニサイズの「ほだ木」にカットし、アンケート回答者へのプレゼントにしてみました。自宅でしいたけを収穫して採れたてを食べられたら最高ですよ！ただ、菌を植えてもしいたけが出てこないほだ木もあったので、配布が少数に限られてしまいました。もしまた新たにしいたけが出てきたら予告なしでアンケートイベントをやるかもしれませんので、ラッキーに出会えるようこまめに公園に遊びに来てくださいね！



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

